

医学生のつと in 長野

「子どもの貧困」について学習しました(∩o∩)

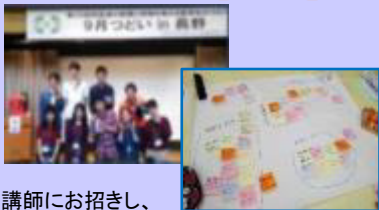
9月29日(土)～30日(日)、長野県で「第39回民医連の医療と研修を考える医学生のつと in 長野」が開催され、全国から医学生・医師を合わせ全体で150名を超す参加者が集まりました。

今回は「**子どもの貧困**」に焦点を当て、学習講演やSGD(少人数でのグループ討議)を行って学びを深めました。

1日目は、長野民医連健和会病院小児科医師の和田浩院長を講師にお招きし、子どもの貧困ワークショップを行いました。学生からは「現場でのアンテナを高めて患者さんの問題に気づけるようになることが大事だと思う」「病院でも学校などいろいろな所と連携した取り組みを行っていくこともできるのでは」といった意見が出され、和田医師は「現場では病気だけではなく、その人の背景も含めて診ることが大切になる。貧困問題はスタッフや外部機関とも連携を強めてアンテナを高めて取り組んでいく必要がある」と述べられました。

2日目は、反貧困セーフティネットワーク・アルプスの児玉典子氏より「すべての命が大切にされる社会～子どもの貧困と地域(大人・医師)の役割～」というテーマでの学習講演が行われました。児玉さんからは医学生や医師としても現場でのアンテナを高くすることや様々な活動に協力していくことなど積極的に関わってほしいということが述べられました。参加した学生からは「いろいろな考えを持っている全国の学生と意見交換ができてとても勉強になった」などの感想が寄せられ、学びが多きつととなりました。

次回のつといは「障がい」をテーマに、12月滋賀県で開催される予定です！



教えて！先生



予備校生Aくん

先輩医師の尊敬できる場所はどこですか。

坂病院でカテーテル手技で非常に有名な医師が、患者さんのことを第一に考え、どんな些細なことも真剣に耳を傾けて時間をかけて接していること。それが根本にあるから手技も上達していくのだと思う。

自分が困っていると、その分野の専門の医師がひょっと現れて適切なアドバイスをしてくれる所。

患者さんと同じ目線で親身になって話を聞いている姿☆



1年目医師 桑嶋医師



3年目医師 角田医師



1年目医師 武蔵医師

次回の坂坂の発行は2月の予定です。

坂坂で読んでみたい記事はございませんか？

医師やコメディカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法についてなど・・・

ぜひ、こちらまでご意見をお寄せください！

igakusei@miyagi-min.com



坂総合病院医学生だより



〈発行〉

坂総合病院
医学生と共に歩む委員会

連絡先・塩釜市錦町16-5

☎022-367-9007

2018年 11月 1日
No.81



坂総合病院HP

「医学生のひろば」より

過去の坂坂がご覧になれます。

リハビリ室

医学生の皆さんこんにちは

今回は坂総合病院のリハビリ室の紹介をさせていただきます。

坂総合病院では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のリハビリスタッフが合計70人程在籍しています。当院のリハビリは、疾患の種類や障害の程度を問わず、急性期～維持期リハビリの対象となっており、入院～退院まで徹底してフォローできる環境となっているのでやりがいを感じています。

また、当院ではそれぞれ専門の資格を有したスタッフがあり、呼吸器リハビリ、心臓リハビリ、癌リハビリ、栄養リハビリなどの専門性の高いリハビリテーションを提供しています。加えてリハビリテーション科専門医が在籍しており、日々、情報交換や学習会を開いています。

1人1人が笑顔あふれる職場で、多職種、地域で連携し情報共有など行いながら患者、ご家族、地域の方々も笑顔になれるように日々治療に取り組んでいます。



リハビリに興味がある方はぜひお越しください。お待ちしております。

教えて！坂総合病院～職場紹介～

生理検査室

皆さんは検査室という何を思い浮かべますか？ 試験管を片手に難しそうな顔をしている人？ 顕微鏡と1日にらめっこ？ 暗い部屋で超音波を使って体の中を見る人？ 細菌の同定をする人？ 輸血の適合を見る人？ などたくさん思い浮かぶと思います。

当院では大きくクリニック検査室(検体検査部門)と病院検査室(生理検査部門・緊急検査や輸血関連検査)にわかれて業務を行っており、さらに検体検査部門では血液検査・一般検査・生化学検査・細菌検査にわかれていきます。生理検査部門では同じく超音波検査をはじめとした画像診断検査・心電図をはじめとする循環器系検査・肺機能を調べる呼吸器系検査・神経伝導検査など神経系の検査等、多方面にわたって臨床検査技師検査として診療・治療を支えています。

研修医との係わりでは、消化器科研修の期間に腹部超音波検査の研修を担当したり、細菌検査ではグラム染色の染め方・見方などを担当するなど接する機会も多々あります。その時はよろしく願います。また、最近では研修医の要望もあり、日常業務の中でなかなかやれないとの事で、時間外に心臓超音波の練習会をはじめました。ある先生からは、練習会後に救急室で実際に検査をしていたところ、たまたま通りかかった循環器科のW科長より「それくらい出せてたら、診断できるね。」とお褒めの言葉を頂いたと喜んで教えてくれたこともありました。

我々、検査部門は日常業務のみならず、研修医の先生方とも一緒に学びあい成長していこうと考えています。



夏の高校生・予備校生 一日医師体験

今年も、夏の高校生予備校生一日医師体験を開催しました。
坂病院では、7月30日・8月1日・3日・10日の4日間行い、7名の高校生・予備校生が参加しました。

スケジュール例

9:30～ オリエンテーション・ 病院案内	10:30～ リハビリテーション 外来見学	11:30～ 循環器病棟 見学	12:30～ 昼食懇談	13:30～ 運動療法室 見学	14:30～ 臨床工学室 見学	16:00頃終了 感想記入
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------	----------------	-----------------------	-----------------------	------------------

外来見学

外来見学では、実際の診療を見学しました。

○感想

- ・患者さんに寄り添い、診察しているという印象が強かった。



- ・初めは不安そうだった患者さんが、安心した表情で帰っていくことに感動した。先生は本当に信頼されていて、こんな人になりたいと思った。
- ・患者さんとのコミュニケーションの様子を見ることができてよかった。

救急室見学



○感想

- ・救急室ならではの緊張感を感じた。
- ・スタッフひとりひとりが協力している姿が印象的だった。
- ・いつどんな患者さんが運ばれてくるかわからない状況の中で、多くの先生がコミュニケーションをとりながら仕事をしていた。
- ・医療の最前線である救急の実際の様子を見ることができ、とても勉強になった。

他職種見学

他職種見学では、生理検査室・運動療法室・臨床工学室・リハビリテーション室・友の会を見学しました。



○感想

- ・最新の機会を導入していくという医療の現場に立ち会えて有意義な時間を過ごせた。
- ・運動療法室がどんなものなのか身をもって感じる事ができた。
- ・言語聴覚士の仕事を見学し、言葉を理解できたときに患者さんがとても嬉しそうで、やりがいのある仕事だと感じた。
- ・医療関係は本当に大変だけれどもやりがいのある仕事だと改めて思った。



昼食懇談

先生方とお昼を食べながら、勉強のこと、医学生生活のこと、医師になってからのことなど、様々なお話を聞きました！

○感想

- ・同じ出身校の医師の方と話すことで、頑張ろうと思え、モチベーションが上がる良い機会だった。
- ・今後の受験のことや大学のことなど直接聞くことができとても良かった。

病棟見学

循環器科・消化器科病棟の見学を行いました。

○感想

- ・様々な状況の患者さんがいて、テキパキと対応していく医師は凄と思った。医師らしい体験もできて良かった。



お知らせ



春の高校生・予備校生一日医師体験！



宮城民医連のホームページにて、募集を行いますので興味のある方はぜひ申し込みをしてくださいね！



河合塾予備校医師講演会



8月31日(金)に河合塾仙台校で医師講演を開催いたしました。

学生の参加者は約60名で、研修医3年目の角田亮医師、研修医1年目の武蔵堯志医師、桑嶋理沙医師が講師として参加しました。

武蔵医師より、河合塾での勉強や現在の研修医生活について、医師を目指す皆さんへと多岐に渡る内容を講演していただきました。受験勉強時に心掛けていたことや勉強する際のモチベーションの上げ方、集中力の作り方など実践的な話もあり学生は真剣に聴いていました。

その後、3人の先生方で個別相談に応じました。「医師になって感じるやりがいは何ですか?」「在宅で行う医療行為と病院で行う医療行為の大きな違いは何ですか?」などの質問が出され、一人ひとりにじっくり対応していました。

秋には受験生向けの模擬面接も開催致します。ぜひ皆さんのご参加をお待ちしております。

個別相談の様子



受験生への
メッセージ



医師にとって大事なものは人間性。医学は万能ではなく、将来的にはAI(人工知能)に仕事をとって代わられることが予想されるが、そんな時に求められるものは人間性です。受験勉強は大変ですが、その中でも多くの人と関わって様々なことを感じて過ごしてください。

マッチング予定者激励会

8月18日(土)、毎年恒例の「マッチング予定者激励会」を仙台市内の飲食店で開催いたしました。学生は総勢20名!(マッチング予定6年生11名、5年生の奨学生3名、坂病院で初期研修を考えてくれている学生6名)、職員19名(医師11名+事務8名)が参加し、盛大に行われました。

参加者の自己紹介やテーブル対抗でのアイスブレイクなどを通し、病院の雰囲気を感じながら楽しく交流ができたのではないのでしょうか。

冬にはウィンターミーティングも予定しています!!



医学生ゼミナールin弘前



全体会

8月10日から8月12日の期間に開催された「第61回全国医学生ゼミナールin弘前」に参加してきました。

医学生ゼミナールは略して「医ゼミ」とも呼ばれており、企画・運営をすべて学生が行い、規模としては日本一の医療系学術企画です。

今年のテーマは「**私たちはどう働くか～医療者と国民の健康が守られる社会～**」でした。

初日は名古屋大学名誉教授の池内了氏の記念講演「人々の健康を願い、平和な社会を目指す」が行われ、内容に関する質疑応答を通して多くの学生と意見交換がされました。

2日目には植山直人氏(医師ユニオン代表)、中原のり子氏(中原利郎先生の過労死認定を支援する会)、安井佑氏(やまと診療所院長)を招き、医療者の働き方を考えるシンポジウムが行われました。

分科会では労働、医療、健康、外交など幅広い問題意識のもと、様々なテーマの報告がありました。SGDでは講演や分科会の内容を踏まえて、医療者としてどのように働くべきか、どのような医療者になりたいか意見を述べ、みんなでより良い医療を实践しようと議論していました。



分科会